

平成 30 年度 国保野上厚生総合病院改革プラン点検・評価について

1. 総論

平成 30 年度決算において、概ね作成したプランに近い数字となった。

しかし依然として赤字経営であるので、今後もプラン数値を基準目標として、黒字化を目指した経営努力が必要である。

2. 改革プラン進捗状況

国保野上厚生総合病院改革プラン平成 30 年度実績調書

市町村等名 海南市・紀美野町

病院事業会計名 国民健康保険野上厚生病院組合事業会計

(単位：百万円、%)

項 目	平成 28 年度策定 改革プラン値 (X)	平成 30 年度実績 (Y)	平成 30 年度実績が計画未達成の場合はその理由	
医業収益	2,300	2,056	外科常勤医減少のため	
経常収益 A	2,915	2,875		
医業費用	2,783	2,761		
うち職員給与費	1,845	1,878	計画通りの職員削減ができなかったため	
うち材料費	360	273		
うち減価償却費	251	255		
経常費用 B	3,073	3,097		
経常損益 (A-B)	△158	△222	計画には及ばなかったが、前年度比 17%減となった	
一日当たり入院患者数 (人)	215	201.6		
一日当たり外来患者数 (人)	355	338.8		
入院診療単価 (円)	21,500	20,766		
外来診療単価 (円)	5,200	5,031	計画には及ばなかったが前年度比 258 円増となった	
経常収支比率	94.9%	92.8%		
職員給与費比率	80.2%	91.3%	計画通りの職員削減ができなかったため	
病床利用率	84.6%	79.4%		
一般会計から の繰入金	収益的収支	448	657	構成市町から基準内繰入金が増えたため
	資本的収支	112	110	
	合計	560	767	